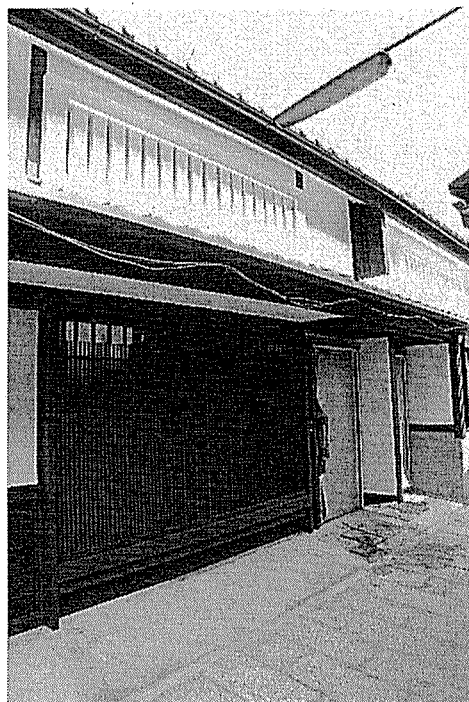


京町家の宿泊施設展開

家屋改修、投資家募る

八清が11月、中京に1号店 来年度中、10軒程度に



八清が宿泊施設に活用する京町家
(京都市中京区)

不動産仲介の八清(はちむら) (京都市下京区)は、京都の町家を活用した宿泊施設の開発・運営事業に乗り出す。老朽化した町家を取得、改

修し、個人投資家に譲渡したうえで統一ブランドによる宿泊施設展開を目指す。11月1日に京都市中京区に1号店を開設し、来年度中に10軒程度に広げる方針。

京町家を使った宿泊施設の運営はすでに数社が手がけているが、京町家を使った宿泊施設は年100軒程度に広げたい。広さや構造などが一定条

件を満たす町家を宿泊施設に転用すれば、賃貸の居住用に比べ物件

の収益性が高まり、投資意欲も高まると判断した。

八清は売却益を得るとともに毎月、所有者から集客システムにつながるホームページへの掲載料を受けとる。管理運営は専門業者に委託する。販売できない町家は自社保有で運営する。

「京宿家」のブランド名で、1軒貸し切りとする。1号店(中京区堀川御池南東)の利用料金は最高3万6千円(2人利用の場合)にする予定。9月12、13日に投資家向け現地

の収益性が高まり、投資意欲も高まると判断した。八清は売却益を得るとともに毎月、所有者から集客システムにつながるホームページへの掲載料を受けとる。管理運営は専門業者に委託する。販売できない町家は自社保有で運営する。